

産 業 経 済 編



(来島海峡展望館)

商 工

今治市は、タオル(国内生産高の約5割を占める全国一の産地)、縫製品などの繊維産業と造船産業、石油精製業を三大基幹産業として発展してきた。また、平成17年の市町村合併を機に、造船・海運産業が集積する日本最大の海事都市として注目されている。

商業は、周辺の越智郡や西条市の一部を含む広域商業圏を持ち、県東予地区の商業中心地として、又、しまなみ海道や海路を利用した阪神、中国、九州方面との経済交流も盛んで瀬戸内における流通拠点都市として発展している。

1. 産業別就業者数

(令和2年国勢調査)

区 分			男	女	計	割合(%)
第一次産業	A	農業、林業	2,016	1,185	3,201	4.57
		(うち農業)	(1,986)	(1,182)	(3,168)	(4.52)
	B	漁業	370	60	430	0.61
		小 計	2,386	1,245	3,631	5.19
第二次産業	C	鉱業、採石業、砂利採取業	73	18	91	0.13
	D	建設業	4,238	885	5,123	7.32
	E	製造業	11,670	4,961	16,631	23.75
		小 計	15,981	5,864	21,845	31.20
第三次産業	F	電気・ガス・熱供給・水道業	230	34	264	0.38
	G	情報通信業	266	140	406	0.58
	H	運輸業、郵便業	3,021	710	3,731	5.33
	I	卸売業、小売業	4,613	5,929	10,542	15.06
	J	金融業、保険業	486	839	1,325	1.89
	K	不動産業、物品賃貸業	410	365	775	1.11
	L	学術研究、専門・技術サービス業	1,006	688	1,694	2.42
	M	宿泊業、飲食サービス業	1,096	2,177	3,273	4.67
	N	生活関連サービス業、娯楽業	810	1,143	1,953	2.79
	O	教育、学習支援業	1,192	1,841	3,033	4.33
	P	医療、福祉	2,343	7,814	10,157	14.51
	Q	複合サービス事業	526	346	872	1.25
	R	サービス業(他に分類されないもの)	1,905	1,190	3,095	4.42
	S	公務(他に分類されるものを除く)	1,406	644	2,050	2.93
		小 計	19,310	23,860	43,170	61.65
T	分類不能の産業		776	600	1,376	1.97
合 計 (A)			38,453	31,569	70,022	100.00
15歳以上人口 (B)			62,609	71,023	133,632	—
労働力人口 (C)			40,255	32,631	72,886	—
労働力率 (C／B)			64.3	45.9	54.5	—
就業比率 (A／C)			95.5	96.7	96.1	—

2. 主要産業の状況

(1) 主要産業

業 種	事 業 所 数	従 業 者 数	出 荷 額 (万円)
織 維 工 業	166	3,077	4,979,772
輸送用機械器具製造業	127	4,377	28,008,547
そ の 他	189	4,969	81,275,914
合 計	482	12,423	114,264,233

資料 令和5年6月1日現在 経済構造実態調査

(2) 商業

業 種	事 業 所 数	従 業 者 数	年間商品販売額 (百万円)
卸 売 業	403	2,771	353,479
小 売 業	1,258	7,942	160,440

資料 令和3年6月1日現在 経済センサス活動調査

(3) 大規模小売店舗における小売業(店舗面積が1,000㎡を超えるもの)

(単位:㎡)

名 称	店舗面積	開店年月	名 称	店舗面積	開店年月
ダイキ今治店	1,240	S59. 6	フレスポ今治店	3,518	H18. 12
伯方ショッピングセンター	1,003	H 4. 7	(直売所)さいさいきて屋	2,062	H19. 4
バルティ・フジ今治店	4,561	H 5. 2	ヒマラヤ今治店	2,674	H20. 9
コープ今治	1,657	H 5. 10	マルナカ今治松本店	2,433	H21. 4
ダイキ近見店	2,852	H 6. 5	今治市馬越町複合商業施設	1,431	H22. 12
コープ喜田村	1,460	H 7. 2	ニトリ今治店	3,449	H23. 11
フレッシュバリュー高市店	1,483	H 7. 9	コスモス喜田村店	2,644	H24. 3
今治国際ホテル	1,325	H 8. 11	ハローズ今治店	2,137	H24. 11
ダイキ喜田村店	3,520	H 9. 2	カタヤマ今治店	8,456	H25. 10
今治 S M A	1,339	H 9. 3	ドラッグコスモス日高店	1,499	H26. 4
フジグラン今治	17,140	H 9. 6	ドラッグストアモリ今治店	1,419	H26. 11
エディオン今治本店	3,000	H12. 11	ドラッグコスモス今治中央店	1,369	H27. 7
ワールドプラザ	18,238	H10. 10	ハローズ中寺店	3,313	H27. 10
イオン今治店	13,619	H11. 4	イオンモール今治新都市	39,700	H28. 4
Aコープいまばり愛彩	1,751	H14. 8	ドラッグコスモス今治阿方店	1,547	H28. 5
マルナカ今治駅前店	1,702	H15. 7	ケーズデンキ今治店	2,428	H28. 9
フレッシュバリュー今治本町店	1,351	H15. 8	ドラッグコスモス今治石井店	1,533	H28. 10
今治くすのきガーデン	1,460	H16. 5	ドラッグコスモス桜井店	1,520	H29. 2
ブックオフ・ハードオフ・オフハウス 今治片山店	1,610	H16. 10	ダイレックス今治店	1,544	H29. 4
ヤマダ電機テックランド今治店	3,184	H17. 3	フジ波止浜店	2,018	H30. 11
ゲオ今治鳥生店	1,465	H18. 5	ザグザク伯方店	1,035	R元. 12
コメリH&G波止浜店 ダイオ今治北店	2,485	H18. 7	ダイレックス今治石井店	1,598	R 5. 6
マルナカ今治桜井店	2,161	H18. 8	ドラッグストアモリ 今治別宮町店	1,466	R 6. 5
マックスバリュ今治阿方店	4,821	H18. 11	ドラッグコスモス北高下店	1,384	R 7. 2

(令和7年4月1日現在)

3. 今治地域地場産業振興センター

当地域には、タオルを中心とした繊維産業、造船業、大島石材業、菊間瓦など、複合的な地場産業が立地し、その歴史も古く、地域経済に果たす役割は大きい。しかし、一方では大部分が零細企業であることから近年の技術革新、高度情報化社会への対応や企画販売、PR等において多くの困難を抱えている。こうした状況下、これらの問題点を解決し、地場産業の自立的発展と地域経済基盤の強化を図るための機能に加え、観光的な要素をも兼ね備えた施設として建設された。

令和6年度には「X-tech Lab Imabari (クロステックラボいまばり)」が開設され、新たな地場産業のイノベーションハブとしての機能を拡充した。当センターは催物に利用できる展示ホール、会議室、研修センター、創業を支援するビジネスインキュベーション施設等を備えている。

《施設の概要》

- ・所在地 今治市旭町二丁目 3-5
- ・竣工年月日 昭和 60 年 1 月 10 日
- ・敷地 2,600 m²
- ・建物 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地下 1 階、地上 5 階
- ・延床面積 5,336 m²

地下1階	1,872.8 m ²	駐車場
1 階	1,213.7 m ²	展示ホール、管理事務室、X-tech Lab Imabari
2 階	764.5 m ²	大・中・小会議室
3 階	487.7 m ²	技術センター、情報交換室
4 階	487.7 m ²	第1・第2研修センター
5 階	487.7 m ²	I B I C ビジネスインキュベーションセンター

- ・工事費 9 億 6,000 万円
 - 財源内訳
 - ・国・県補助金 400,000 千円
 - ・中小企業高度化資金借入金 367,896 千円
 - ・今治市 96,053 千円
 - ・業界・商工会議所 96,051 千円
- ・管理運営 一般財団法人今治地域地場産業振興センター(基本財産 1 億 1,500 万円)
- ・事業内容
 - (1) 企業の経営支援に関する事業
 - (2) 人材育成に関する事業
 - (3) 産業情報等の収集、提供、研究及び分析に関する事業
 - (4) 交流及び連携の促進に関する事業
 - (5) 創業及び新たな事業活動の支援に関する事業
 - (6) 需要開拓等の支援に関する事業
 - (7) センターが所有する施設の賃貸及び管理運営に関する事業
 - (8) その他センターの目的を達成するために必要な事業

4. テクスポート今治

今治を代表するタオル産業をはじめとした繊維産業の活性化を目指し、ファッション文化の情報発信基地として新商品の開発やタオル繊維産業振興の各種イベントなどを行っている。

また、「今治タオル」を公式に取り扱う「今治タオル本店」や、今治タオルの本質的価値である「安心・安全・高品質」を楽しみながら体験できる体感施設「今治タオルLAB」が併設されている。

テクスポート(TEXTPORT)は、繊維を意味するテキスタイル(TEXTILE)と今治市の象徴である港(PORT)からつくった合成語です。また「テク」にはテクノロジー、「ポート」には発信などの意味があります。

《施設の概要》

- ・所在地 今治市東門町五丁目 14-3
- ・竣工年月日 平成3年3月21日
- ・敷地 8,807 m²
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造、地上2階
- ・延床面積 延 4,637.06 m²

1 階	2,956.12 m ²	大ホール、今治タオル本店
2 階	1,511.58 m ²	中ホール、会議室、イベントホール
別 館	169.36 m ²	体感施設「今治タオルLAB」

- ・工事費 15億9,700万円
- ・管理運営 (株)今治繊維リソースセンター(資本金1億円)
- ・事業内容 (1)繊維工業に関する情報の収集、整理、分析及び管理並びに提供サービス業務
(2)繊維工業に関する調査研究業務
(3)繊維工業に関する研修会、講習会の開催
(4)繊維工業に係る新商品、新技術等に関する展示会、見本市等の企画、設計、施行及び管理
(5)タオル及びその他の織物並びに衣料品の企画、展示、製造、販売及び仲介

5. 融資制度

(令和7年4月1日現在)

制度名		今治市中小企業経営安定化資金融資制度	今治市中小企業緊急経営資金融資制度	今治市中小企業設備近代化資金融資制度	今治市中小企業振興資金融資制度	今治市勤労者住宅建設資金融資制度	今治市勤労者生活資金融資制度
融資条件	貸付限度額	1,000万円	1,000万円(振興資金融資との併用不可)	1,000万円(他の融資の旧債決裁は不可)	500万円	2,000万円	100万円教育資金500万円
	貸付期間	84月以内	72月以内	84月以内	60月以内	480月以内	60月以内教育資金240月以内
	償還方法	84月元金均等償還(12月据置可)	72月元金均等償還(12月据置可)	84月元金均等償還(6月据置可)	60月元金均等償還(3月据置可)	元利均等月賦償還又は、半年賦併用償還	同左注2
	貸付利率	(株)日本政策金融公庫の基準利率から－0.55%	(株)日本政策金融公庫の基準利率から－0.5%	(株)日本政策金融公庫の基準利率から－0.5%	(株)日本政策金融公庫の基準利率から－0.5%	四国労働金庫の定める利率	年3.50%教育資金1.33%
	保証料	特定中小企業者1～4、6号(0.8%)5、7、8号(0.7%)注1	年0.45%～1.66%注1	年0.45%～1.66%注1	年0.45%～1.66%注1	年0.08%～0.22%	年0.7%～1.2%
	保証人	個人原則不要法人原則代表者のみ	個人原則不要法人原則代表者のみ	個人原則不要法人原則代表者のみ	個人原則不要法人原則代表者のみ	徴収しない	徴収しない
	担保	原則として不要	原則として不要	原則として不要	原則として不要	要する	不要
取扱金融機関		伊予銀行・愛媛銀行・愛媛信用金庫・広島銀行・四国銀行・百十四銀行・香川銀行・高知銀行・徳島大正銀行・J A越智今治・J A今治立花・山口銀行の市内各支店	伊予銀行・愛媛銀行・愛媛信用金庫・広島銀行・四国銀行・百十四銀行・香川銀行・高知銀行・徳島大正銀行・J A越智今治・J A今治立花・山口銀行の市内各支店	伊予銀行・愛媛銀行・愛媛信用金庫・広島銀行・四国銀行・百十四銀行・香川銀行・高知銀行・徳島大正銀行・J A越智今治・J A今治立花・山口銀行の市内各支店	伊予銀行・愛媛銀行・愛媛信用金庫・広島銀行・四国銀行・百十四銀行・香川銀行・高知銀行・徳島大正銀行・J A越智今治・J A今治立花・山口銀行の市内各支店	四国労働金庫今治支店	四国労働金庫今治支店
申込期間		常時	常時	常時	常時	常時	常時
預託金		振興資金の預託金内	振興資金の預託金内	振興資金の預託金内	振興資金の預託金内	12,300万円	7,400万円
貸付枠		振興資金の預託金内	振興資金の預託金内	振興資金の預託金内	振興資金の預託金内	4倍 49,200万円	2倍 14,800万円
R6年度貸付	件数	19件	25件	33件	233件	0件	0件
	金額	12,750万円	23,000万円	18,535万円	80,575万円	0万円	0万円

④① 愛媛県信用保証協会に納付する保証料については、期限内返済者(市税滞納者を除く)に市が全額補給。(ただし、融資額500万円を上限とする。)また、令和5年12月1日以降における融資申込者は、保証料を全額負担せず、愛媛県信用保証協会に市が補給。

④② 教育資金は、最長4年間の据置期間があり、この間は利息のみ返済、その後は元利均等払いとする。

6. 雇用対策

(1) 職業紹介状況(今治公共職業安定所管内)

区 分	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
新 規 求 職 者 数	6,227	5,834	6,214	5,928	5,732	5,563
月 間 有 効 求 職 者 数	24,260	26,385	27,707	27,218	27,589	27,759
新 規 求 人 数	14,236	11,511	12,802	13,486	14,063	14,092
月 間 有 効 求 人 数	40,483	32,004	35,179	38,255	39,778	40,475
紹 介 件 数	6,138	5,993	6,102	5,508	5,244	5,033
就 職 件 数	2,631	2,151	2,314	2,259	2,164	2,022
充 足 数	2,472	1,952	2,094	2,069	2,029	1,885
有 効 求 人 倍 率	1.67 倍	1.21 倍	1.27 倍	1.41 倍	1.44 倍	1.46 倍
就 職 率	10.8%	8.2%	8.4%	8.3%	7.8%	7.3%
充 足 率	18.5%	17.0%	16.4%	15.3%	14.4%	13.4%

資料:今治公共職業安定所

(2) 愛媛県立愛媛中央産業技術専門校(令和7年度実施計画)

訓 練 科 目	課 程	募集定員	入 校 月	訓練期間
今治タオルものづくり科	普通課程	10 名	4 月	2 年
服 飾 モ ー ド 科	普通課程	10 名	4 月	2 年
ビ ジ ネ ス デ ザ イ ン 科	普通課程	15 名	4 月	1 年
設 備 エ ン ジ ニ ア 科	普通課程	10 名	4 月	2 年

7. 旧今治コンピュータカレッジ

今治コンピュータカレッジは、職業訓練法人東予情報処理技術振興財団が平成23年3月末に解散し閉校となる。

平成23年4月1日から、今治市が国から施設を譲り受け、産業に関する人材育成や産業の振興などに関する訓練や研修のほか、会議や説明会などに利用可能。

所 在 地 今治市東門町五丁目840番4

敷地面積 9,874 m²

建 物

校 舎 鉄筋コンクリート造、2階建 2,241.12 m² 建築年次 平成元年7月

学生会館 重量鉄骨造2階建 505.70 m² 建築年次 平成5年5月

利用時間 午前8時30分から午後5時まで(土・日・祝日・年末年始は休館)

貸 室 会議室、ビジネスルーム1、システムルーム1、マルチメディアルーム1、講師室、研修室1、研修室2、教室1、教室2・3、教室4・5、教室6、視聴覚室、多目的ホール、事務室1、事務室2

利用料金 利用時間及び利用部屋により徴収

観 光

1. 主な観光地

(1) 自然・景観

・瀬戸内しまなみ海道

かつて瀬戸内海最強の「村上海賊」が勇壮な海のドラマを繰り広げた芸予海域の島々を縫う、全長 59.4km の自動車専用道路である。本州四国連絡橋のなかで新尾道大橋以外の橋には、歩行者道・自転車道・原動機付自転車(125cc 以下)の専用道路が併設されている。島々の多島美と橋の人工美の織りなす景色は古き日本の箱庭を感じさせる絶景である。

・亀老山展望公園

標高 301.1m の亀老山展望公園は、大島の南端に位置し、瀬戸内海国立公園に指定されている。世界的に著名な建築家隈研吾氏によって設計されたパノラマ展望台ブリッジからは、世界初の三連吊橋「来島海峡大橋」と日本三大急潮のひとつ「来島海峡」の潮流、晴れた日には四国山地の中に連なる西日本最高峰「石鎚山」を眺めることができる。また、来島海峡大橋のライトアップや今治市街地の夜景もきれいで、様々な顔を持つ景色を楽しむことができる。

(1) 所在地 今治市吉海町南浦 487 番地 4

(2) 設置年度 昭和 62 年度

(3) 規 模 7,500 m²(展望台及び駐車場)

・来島海峡展望館

来島海峡大橋の架橋地点、糸山公園内に設置され館内には来島海峡大橋の工事パネル、模型を展示してあり、橋の構造等を分かりやすく紹介している。また、日本遺産に認定された「村上海賊」のビジターセンターにもなっている。展望広場からは瀬戸内でも屈指の多島海景や日本三大急潮の一つである来島海峡の自然美と世界初の三連吊橋、来島海峡大橋の人工美が織り成す空間を堪能することができる。

(1) 開設年月 平成 8 年 4 月

(2) 名 称 今治市来島海峡展望館

(3) 所在地 今治市小浦町 2 丁目 5 番 2 号

(4) 建築面積 282.82 m²

・海山城展望公園

その昔、来島村上海賊の砦があったとされ、それをイメージした城型の展望台がある。隣接する花木園には桜、菜の花、ツツジなどが植えられ、四季を通じて様々な花が楽しめる。

(1) 設置年度 平成 4 年度(展望台及び展望広場)

(2) 所在地 今治市波方町樋口乙 747 番地 2

・ナガタニ展望台

関前岡村島にある展望台。眼下には観音崎の美しい岬と瀬戸内の海が広がる

(1) 設置年度 平成 2 年度

(2) 所在地 今治市関前岡村乙 27-1

(3) 規 模 展望台 126.06 m² 土地構造 1,012.90 m² あずま屋

・桜井海岸(名勝 志島ヶ原、唐子浜、湯ノ浦温泉)

静かなエメラルドの海と白砂青松の海岸が 8km も続き、「桜井総合公園」や四国初の国民保養温泉地「湯ノ浦温泉」があり、海と緑と温泉に囲まれた休養地である。

・大角海浜公園

キャンプ場や海水浴場、船のマストをイメージした展望台から美しい景色を見ることができる。

(1) 所在地 今治市波方町波方乙 893 番地 1

(2) 施設概要 あずま屋 36.00 m²、展望台 19.30 m²、休憩所 1,800 m²、遊歩道、プロペラ展示等、駐車場、公衆トイレ

・歌仙公園

歌仙の滝、霧合の滝の 2 つの滝があり、春は桜、秋は紅葉の行楽地として親しまれている。

(1) 所在地 今治市菊間町松尾

(2) 施設概要 休憩所 9.0 m² 2 棟、公衆トイレ

・鴨池海岸公園

瀬戸内海国立公園にも指定されている当地域は、夕陽が美しい風光明媚な場所であり、約 800m の白砂海岸では、夏に海水浴やデイキャンプ等にてぎわう。また、海岸を見下ろせる高台の展望台からは、遠くしまなみ海道を見ることができる。

(1) 所在地 今治市大西町九王甲 1168 番地

(2) 設置年度 平成 18・19 年度

(3) 規模 トイレ棟 31.17 m²、シャワー棟 36.76 m²、多目的広場、遊歩道、展望台、駐車場

(2) しまなみ海道レンタサイクル

瀬戸内しまなみ海道は自転車でも渡ることができるという特徴から、「サイクリストの聖地」として認知され、加えて、国のナショナルサイクルルートにも指定（令和元年 11 月）されるなど、国内外から多くの自転車愛好家が訪れている。

サイクリングでの観光を手軽に楽しんでもらうため、一般社団法人しまなみジャパンがしまなみ海道沿線 10 か所のターミナルでレンタサイクルを運用しており、レンタサイクルを借りたターミナル以外で返却できる「乗捨て」サービスも行っている。（一部市内の旅館・ホテルでも乗捨て可能）

■貸出料金

大人 1 日につき 3,000 円 小学生以下 1 日 1,000 円

電動アシスト自転車 大人 1 日 4,000 円

タンデム自転車 大人 1 日 4,000 円

E-bike 大人 1 日 8,000 円

タンデム自転車は乗捨て不可

・ レンタサイクルターミナル（今治市分）

令和 7 年 4 月 1 日現在

レンタサイクル施設名称
中央レンタサイクル（サンライズ糸山）
今治駅前レンタサイクル（i. i. imabari! Cycle Station）
吉海レンタサイクル（重点「道の駅」よしうみいきいき館）
伯方レンタサイクル（重点「道の駅」伯方 S・C パーク）
上浦レンタサイクル（重点「道の駅」多々羅しまなみ公園）

・ 糸山サイクリングターミナル「サンライズ糸山」

青少年の健全育成とサイクリングを通したスポーツの振興を目的に建設した施設であり、サイクリストや青少年に限らず、誰でも気軽に低料金で利用できる。

また、ナショナルサイクルルート「しまなみ海道サイクリングロード」の起終点として、サイクリストや観光客の利便性を高めるサービスを提供する。

- (1) 所 在 地 今治市砂場町二丁目 8 番 1 号
- (2) 設 置 年 度 平成 11 年度
- (3) 施 設 概 要 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建
 拡張施設（令和 2 年 6 月 19 日供用開始）：鉄骨造平屋建
 敷地面積 9,424.43 m²（拡張施設含む）
 延床面積 2,638.31 m²（拡張施設含む）
 客室 19 室（洋室 14、和室 5） 定員 最大 70 人
 食堂 約 70 席
 自転車保管庫、自転車組立てスペース、自転車洗車スペース、更衣室、ウッドデッキテラス
- (4) 管 理 運 営 (指定管理)一般財団法人今治勤労福祉事業団
 ※レンタサイクル関連施設は一般社団法人しまなみジャパンに貸付
- (5) 駐 車 場 130 台
- (6) 事 業 費 約 13 億 4,200 万円
- (7) オ ー プ ン 平成 11 年 4 月 20 日

(8) 利 用 料

① 宿泊利用料

区 分	料 金 (1 人 1 泊につき)			
	利 用 人 数	大 人	中 学 生	小学生・4 歳以上の幼児
洋室・ 和室大広間	1 人	4,400 円	3,960 円	3,520 円
	2 人・3 人	3,300 円	2,970 円	2,640 円
	4 人以上	2,750 円	2,530 円	2,200 円

備考

- (1) 心身障がい者については、各利用区分料金の 8 割相当額とする。
- (2) 4 歳未満の乳幼児が独立して寝具を利用する場合に限り、利用料として 1,100 円を徴収する。
- (3) 大広間は、1 室使用の料金とする。

② 一時使用

料 金 (1 時間につき)				
研 修 室	大 広 間			
	1 室	2 室	3 室	4 室
1,100 円	550 円	990 円	1,430 円	1,650 円

備考

- (1) 心身障がい者については、各使用区分料金の 8 割相当額とする。
- (2) 使用時間は、実際に使用する時間のほか、その準備及び原状に回復するために要する時間を含む。



・今治駅前サイクリングターミナル (i.i.imabari! Cycle Station)

サイクリングを通じてレクリエーションの振興及び国内外からの誘客の促進による賑わいの創出と交流人口の拡大を目的に建設した施設であり、「しまなみ海道サイクリングロード」のゲートウェイとして、サイクリング及び観光に関する情報を提供する本市観光の拠点施設である。

- | | |
|----------|---|
| (1) 所在地 | 今治市北宝来町二丁目甲 773 番地 8 |
| (2) 設置年度 | 令和 2 年度 |
| (3) 施設概要 | 鉄骨造平屋建
敷地面積 1,132.35 m ²
延床面積 591.03 m ²
自転車保管庫 (100 台保管)、サイクリスト等交流スペース、自転車組立てスペース、自転車洗車スペース、更衣・シャワー室、ウッドデッキ広場、公衆トイレ |
| (4) 管理運営 | (指定管理)一般財団法人今治勤労福祉事業団 |
| (5) 事業費 | 約 1 億 9,100 万円 |
| (6) オープン | 令和 2 年 7 月 20 日 |
| (7) サービス | 手荷物一時預かり、レンタサイクル及び観光情報提供 |



(3)道の駅

・重点「道の駅」今治湯ノ浦温泉

- | | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | 今治市長沢甲 252 番地 2 |
| (2) 設置年度 | 平成 10 年度 |
| (3) 施設概要 | 駅舎:鉄骨造平屋建 323.50 m ²
観光情報、休憩コーナー、レストラン、
特産品コーナー |
| (4) 管理運営 | 直営 |

・重点「道の駅」よしうみいきいき館

- | | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | 今治市吉海町名 4520 番地 2 |
| (2) 設置年度 | 平成 10 年度 |
| (3) 施設概要 | 駅舎:鉄骨造平屋建 691.18 m ²
物産販売所、食材供給室、農水産物加工販売所 |
| (4) 管理運営 | 株式会社しまなみ |

・重点「道の駅」伯方S・Cパーク

- | | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | 今治市伯方町叶浦 1668 番地 1 |
| (2) 設置年度 | 平成 11 年度 |
| (3) 施設概要 | 駅舎:鉄筋コンクリート造 1,056.86 m ²
農水産物等処理加工施設、農水産物等直販施設、地域食材供給施設 |
| (4) 管理運営 | 株式会社しまなみ |

・重点「道の駅」今治市多々羅しまなみ公園

- | | |
|----------|---|
| (1) 所在地 | 今治市上浦町井口 9180 番地 2 |
| (2) 設置年度 | 平成 11 年度 |
| (3) 施設概要 | 駅舎:鉄筋コンクリート造 2,062.73 m ²
インフォメーションセンター(RC造平屋建 281.00 m ²)
農水産物等特産品販売施設、地域食材供給施設、ふれあい屋台市、
研修室、食材研究室、会議室 |
| (4) 管理運営 | インフォメーションセンター
(指定管理) 一般社団法人 しまなみジャパン
その他 株式会社しまなみ |

・重点「道の駅」しまなみの駅御島

- | | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | 今治市大三島町宮浦 3260 番地 |
| (2) 設置年度 | 平成 11 年度 |
| (3) 施設概要 | 駅舎:鉄骨造平屋建 476.98 m ² 木造平屋建 143.42 m ²
地域特産品展示室、実習室、観光情報提供コーナー、休憩室、シャ
ワー室 |
| (4) 管理運営 | (指定管理)株式会社大三島ものづくり |

(4)野間馬ハイランド

野間馬は、乃万地区が発祥の地とされ、江戸時代から野間郷を中心に飼われていたが、時代の変遷とともに衰滅の一途をたどり、昭和 53 年には県下でわずか 6 頭しかおらず、近い将来滅びて幻の動物になるだろうといわれていた。

この希少価値のある野間馬 4 頭が、昭和 53 年松山市在住の長岡悟氏から今治市に寄贈され、野間馬の故郷である今治市野間で飼育されて以来、令和 7 年 4 月 1 日現在で 55 頭飼育されている。

日本在来馬である野間馬の保存育成は歴史的・学術的にも意義があり、後世に継承すべき生きた文化遺産である。“人と動物のふれあい”をテーマとして「野間馬ハイランド」が平成元年 4 月に第 1 期開園し、多くの来園客でにぎわってきたが、飼育環境の改善と架橋時代に向けた観光拠点づくりとして平成 6 年から第 2 期整備を進め、平成 9 年 4 月に完成した。主な施設としては、野間馬グッズを販売する売店と野間馬のことを楽しみながら学習できる野間馬ものしり教室がある「まきば館」、大型コンビネーション遊具を備えた「わんぱく広場」などがある。

平成 13 年度に、休憩・学習機能を持った「にこにこ広場」を追加整備した。

- | | |
|----------|--|
| (1) 所在地 | 今治市野間甲 8 番地 |
| (2) 面積 | 56,315.97 m ² (放牧場、厩舎、まきば館、乗馬広場、小動物ふれあい
広場、わんぱく広場、にこにこ広場他) |
| (3) 管理運営 | (指定管理)野間馬保存会 |
| (4) 頭数 | 牡 30 頭 牝 25 頭(令和 7 年 4 月 1 日) |

(5)温泉等

・湯ノ浦温泉

眼下に桜井海岸の広がる丘陵地に、民間のホテル、多目的温泉保養館「クアハウス今治」、
「桜井総合公園」など、国民保養地として整備されている。温泉はフッ素・ラドンが豊富に
含まれており、機能回復に効能の強い療養温泉である。

・鈍川温泉

深い渓谷と清流蒼社川のせせらぎに包まれた「出湯のふるさと」で、その昔、今治藩の湯
治場として栄えたともいわれ、山紫水明の温泉郷である。

○鈍川せせらぎ交流館

- | | | |
|-----|---------|--|
| (1) | 所 在 地 | 今治市玉川町鈍川甲 218 番地 1 |
| (2) | 開 設 年 度 | 平成 7 年度 |
| (3) | 施 設 概 要 | 鉄筋コンクリート造 1,713.71 m ²
浴場、貸部屋、軽食コーナー |
| (4) | 施 設 管 理 | (指定管理)株式会社ありがとうサービス |

・大三島海洋温浴館及び農村交流館(マーレ・グラッシア大三島)

タラソテラピー(海洋療法)の考えを取り入れた、美しい海の恵みを十分に満喫できる複合
型リラクゼーション施設である。海水はもとより海の気候などを組み合わせて、心と身体を
癒し、自然治癒力を高めることなどを目的とする。

- | | | |
|-----|---------|---|
| (1) | 所 在 地 | 今治市大三島町宮浦 5902 番地 |
| (2) | 開 設 年 度 | 平成 13 年度 |
| (3) | 施 設 概 要 | 鉄筋造(一部鉄筋コンクリート造)平屋建(一部地下) 1,787.61 m ² |
| (4) | 施 設 管 理 | (指定管理)株式会社マーレ |

(6)市営キャンプ場

・宮窪カレイ山展望公園内キャンプ場

- | | | |
|-----|---------|--------------------------------|
| (1) | 所 在 地 | 今治市宮窪町宮窪 6355 番地 2 |
| (2) | 開 設 年 度 | 昭和 62 年度 |
| (3) | 施 設 概 要 | キャンプサイト：13 区画 炊事棟：1 棟 トイレ棟：1 棟 |
| (4) | 施 設 管 理 | (指定管理) N P O 法人能島の里 |

・上浦多々羅キャンプ場

- | | | |
|-----|---------|----------------------------|
| (1) | 所 在 地 | 今治市上浦町井口 7523 番地 |
| (2) | 開 設 年 度 | 昭和 58 年度 |
| (3) | 施 設 概 要 | コテージ：10 棟 炊事棟：3 棟 トイレ棟：3 棟 |
| (4) | 施 設 管 理 | 直営 |

・大三島台キャンプ場

- | | | |
|-----|---------|------------------------------|
| (1) | 所 在 地 | 今治市大三島町台 5089 番地 |
| (2) | 開 設 年 度 | 昭和 55 年度 |
| (3) | 施 設 概 要 | キャンプサイト：8 区画 納涼台：2 棟 管理棟：1 棟 |
| (4) | 施 設 管 理 | 直営 |

2. 主な年中行事

1 月	客天神社弓祈禱(朝倉) かわらぬ愛きくま(菊間)	7 月	三島水軍鶴姫まつり(大三島) 水軍レース大会(宮窪)
2 月	遍照院節分会厄除大祭(菊間) 姫子島神社弓祈禱(関前)	8 月	サマーフェスタ in かみうら(上浦) 今治市民のまつり「おんまく」 ザ・BON・フェスタ(玉川) はかた夏まつり(伯方)
4 月	開山の花見(伯方) 半島四国八十八ヶ所めぐり(波方) 島四国へんろ市(大島) 伯方の春市(伯方)	9 月	瀬戸内しまなみ海道今治伯方島トライアスロン 大山祇神社産須奈大祭(大三島) 菊間祭り(お供馬の走り込み)(菊間)
5 月	今治地方春祭り 笠鉦まつり(朝倉) バラ祭りよしうみ(吉海) 大山祇神社例大祭・後宮祭(大三島)	10 月	おおにしフェスタ(大西) ちびっ子のまうま祭 大山祇神社抜穂祭(大三島) 瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ
6 月	大山祇神社御田植祭(大三島)		

3. 観光宣伝事業

(1) 広域観光連携による観光宣伝

しまなみ広域連携については、一般社団法人しまなみジャパン、公益社団法人今治地方観光協会及び一般社団法人広島県観光連盟を中心に活動している。愛媛県等とも連携し、「瀬戸内しまなみ海道」を世界へ情報発信する。

(2) 国内外の旅行会社との各種商談会へ参加

大都市圏(東京、大阪、名古屋)の旅行会社及び国外の旅行会社(主にアジア圏域)に本市の紹介、宣伝を行うことにより認知度の向上を図る。

(3) 観光パンフレット等の作成

パンフレット等を作成し、旅行関係団体及び観光客に配布する。また、観光宣伝用名刺台紙を配布し、今治市の観光PRを行う。

(4) 広告媒体等を利用した観光宣伝

広告を掲載することにより本市の観光スポットを宣伝する。また、SNSを活用した観光宣伝を行う。

(5) 首都圏等での観光宣伝イベント事業

銀座駅や赤レンガ倉庫等で観光PRイベントを実施し、首都圏等に今治市をPRする。

農 林 水 産

1. 農業

当市の場合、主業・準主業農家は全農家戸数の約 14%で、大半が副業的農家で占められており、農産物は、水稻を中心に、柑橘、野菜、花木、畜産等である。

現在、地域性を生かした農業の確立を目指し、農地の有効利用、新規就農者や生産組織の育成強化、新たな柑橘品種のブランド化等、地域に即した総合的な農業振興対策が図られている。

(1) 農家戸数

年 次	主 副 業 別 農 家 戸 数			
	主 業	準 主 業	副 業 的	計
平成 22 年	554	698	2,179	5,612
平成 27 年	388	409	1,866	4,841
令和 2 年	324	267	1,714	4,117

(農林業センサス)

※販売農家のみの各戸数数字になっているが、自給的農家H22年 2,379 戸、H27年 2,178 戸、R2年 1,812 戸は計のみに含める。

(2) 農家人口および農業従事者数

年 次	農 家 人 口			農業従事者数		
	男	女	計	男	女	計
平成 22 年	5,251	5,608	10,859	4,346	3,990	8,336
平成 27 年	3,858	4,027	7,885	3,218	2,834	6,052
令和 2 年	3,095	3,127	6,222	2,655	2,196	4,851

(農林業センサス)

(3) 経営耕地面積

(単位 ha)

年 次	田	畑	樹 園 地	計
平成 22 年	1,471	276	1,349	3,097
平成 27 年	1,096	186	931	2,213
令和 2 年	1,114	185	784	2,084

(農林業センサス)

(4) 令和 5 年度作付面積

作物名	作付面積(ha)	作物名	作付面積(ha)	作物名	作付面積(ha)	作物名	作付面積(ha)
米	1370.0	ピーマン	3.2	さといも	38.0	愛媛果試 第 28 号	50.7
麦	157.0	いちご	3.0	れんこん	13.0	ぶどう	5.2
きゅうり	36.0	キャベツ	14.6	かんしょ	28.2	なし	24.5
かぼちゃ	9.1	ねぎ	9.6	ばれいしょ	42.7	もも	2.8
すいか	17.1	たまねぎ	8.4	レタス	12.7	かき	22.7
なす	6.4	だいこん	54.1	温州みかん	497.6	くり	8.2
トマト (ミニトマト)	24.2	にんじん	3.5	伊予柑	321.9	キウイ フルーツ	29.0

(5) 土地改良事業補助率

区 分		補 助 率	左 の 内 訳		
			国	県	市
農 業 農 村 整 備	公共性が低い事業	95	※55 以内	※15 以内	※40 以内
	上 記 以 外	98	※55 以内	※15 以内	※43 以内
災 害 復 旧	国 費	補助率増高申請により決定された補助率			
	単 費				
県 単	農 道	農 地	補助率増高申請により決定された補助率		
		2m 以上 4m 未満	0	—	0
	か ん が い 排 水	4 m 以 上	90	—	40
			95	—	45
市 単	農 道	2m 以上 4m 未満	90	—	40
		4 m 以 上	95	—	45
	か ん が い 排 水		95	—	55
			90	—	90
市 単	農 道	2m 以上 4m 未満	90	—	90
		4 m 以 上	95	—	90
	か ん が い 排 水		90	—	90
市 単	農 道	2m 以上 4m 未満	90	—	90
		4 m 以 上	95	—	90
	か ん が い 排 水		90	—	90

※国、県及び市補助率については、事業内容により異なる。

(6) 農業振興地域整備計画

区 分	農業振興地域(A)	農用地区域(B)	農用地区域 設定率 B / A
耕 地 面 積	4,866 ha	2,974 ha	61.1%
田	2,120 ha	1,438 ha	67.8%
畑	984 ha	350 ha	35.6%
樹 園 地	1,762 ha	1,186 ha	67.7%
上記以外の山林原野	14,363 ha	797 ha	5.5%
そ の 他	7,928 ha	47 ha	0.6%
計	27,157 ha	3,818 ha	14.1%

(7) 農地の流動化の状況

(R6 年分)

区 分	所有権 の移転	小作地の移転		利 用 権 の 設 定				
		設定移転	解 約	1～3 年	4～5 年	6～10 年	11～20 年	計
件 数	116	5	98	307	155	152	26	640
面 積	841a	180a	1,593a	6,030a	3,294a	4,524a	611a	14,459a

(8) 米の生産状況

年 度	生産の目安		作付実績	
	生産数量	作付面積	生産数量	作付面積
6 年度	7,119t	1,433ha	7,080t	1,400ha

(9) 農地転用状況

ア 農地転用の推移

(単位：a)

R 4 年			R 5 年			R 6 年		
田	畑	計	田	畑	計	田	畑	計
947	500	1,447	521	369	890	944	216	1,160

イ 転用用途別面積調

(R6 年分)(単位：a)

自己住宅	貸家・分譲住宅	公共用地	農業用施設	その他	計
296	244	0	11	609	1,160

(10) 農業者年金調

(R6 年度末現在)

加 入 者			受 給 者		
政策支援	通常加入	計	経営移譲年金	老齢年金	計
2	23	25	113	235	348

2. 林業

当市は市域面積の約 5 割が森林であり、さらにそのうち約 9 割が民有林で、うち 3 割が人工林で、そのほとんどがスギ、ヒノキで占められている。

全国的に、個人等が所有する森林の約 7 割が適正に管理されていないとされ、当市においても管理が不十分な森林が約 4,700ha 程度存在すると推定されている。

このような状況の下、地球温暖化防止のみならず、災害防止・国土保全機能強化等の観点から、森林整備をより一層促進するため、森林経営管理法が令和元年度に施行され、新たな森林経営管理制度が導入された。

この制度は、市が仲介役となり森林所有者と林業事業者（担い手）を繋ぎ、森林所有者の合意の下、市が森林の状況に応じて適切な経営や管理を引き受けるもので、所有者が自ら管理できない森林への公的関与に踏み込んだ点で革新的な制度である。

当市は、この制度を活用し、林業を持続的に発展させるとともに、森林の持つ多面的公益的機能を高度に発揮させるため、森林所有者の意向確認から、経営管理を委託された森林の管理運営に至るまでの一連の業務を効率的に実施していく。

(1) 山林の状況

(単位：ha)

区 分	面 積	人 工 林		天 然 林		竹 林	その他
		針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹		
私 有 林	17,693	5,628	56	840	9,895	387	887
公 有 林	3,484	2,276	38	240	877	14	39
国 有 林	965	562	160	37	178	0	28
計	22,142	8,466	254	1,117	10,950	401	954

(今治松山地域森林計画書より)

海岸林は、海からの風や潮、津波や高波、飛んでくる砂などから海沿いの暮らしを守るためにつくられた森林である。

この公益的機能の高い保全すべき松林を対象として、被害状況に応じた様々な対策を行う。

(2) 松くい虫対策の実施状況

(令和 6 年度)

事 業 区 分		事 業 量	事業費(委託料)	左の内市負担額
予 防 事 業	地 上 散 布	5.22ha	1,171,000 円	1,171,000 円
	樹 幹 注 入	薬剤 2,295 本	8,745,000 円	3,508,000 円
被害立木駆除	伐倒駆除等	77 m ³	4,526,060 円	3,271,060 円



3. 漁業

本市の水産業は、燧灘西部来島海峡を中心とした好漁場を有し、第1種漁港24港、第2種漁港3港の漁業根拠港と愛媛県漁業協同組合の支所が11か所、内水面の蒼社川漁業協同組合がある。その漁業形態は、小型底びき網漁業、一本釣漁業を主体に、はえ縄、小型定置網、採貝藻等種々の漁法によって多種類の水産動植物が漁獲されている。また一方ではマダイ等の海面養殖業も営まれている。

(1) 令和6年度水産資源保護事業(漁協支所別稚魚放流実績)

漁 協 名	魚 種	放 流 尾 数
愛媛県漁業協同組合 桜井支所	キジハタ	1,429 尾
	ヒラメ	6,521 尾
	クルマエビ	193,000 尾
	ガザミ	20,000 尾
愛媛県漁業協同組合 今治支所	キジハタ	1,429 尾
	ヒラメ	6,521 尾
	マダイ	3,388 尾
	クルマエビ	9,000 尾
愛媛県漁業協同組合 大浜支所	キジハタ	1,429 尾
	ヒラメ	6,521 尾
	マダイ	6,776 尾
愛媛県漁業協同組合 小部支所	キジハタ	4,428 尾
	ヒラメ	6,520 尾
	マダイ	6,777 尾
	アワビ	5,700 個
愛媛県漁業協同組合 菊間支所	キジハタ	1,428 尾
	ヒラメ	16,520 尾
愛媛県漁業協同組合 渦浦支所	キジハタ	1,429 尾
	ヒラメ	6,521 尾
	マダイ	3,388 尾
愛媛県漁業協同組合 志津見支所	キジハタ	1,429 尾
	ヒラメ	6,521 尾
	マダイ	3,388 尾
	キジハタ	1,429 尾
愛媛県漁業協同組合 宮窪支所	キジハタ	2,429 尾
	ヒラメ	6,521 尾
	マダイ	3,388 尾
愛媛県漁業協同組合 伯方支所	キジハタ	1,429 尾
	ヒラメ	11,521 尾
	マダイ	3,388 尾
愛媛県漁業協同組合 大三島支所	キジハタ	1,428 尾
	ヒラメ	6,520 尾
	マダイ	12,776 尾
愛媛県漁業協同組合 関前支所	キジハタ	1,428 尾
	ヒラメ	6,520 尾
	マダイ	3,388 尾
今治地区漁業協同組合協議会	メバル	31,500 尾
	クルマエビ	48,000 尾
蒼社川漁業協同組合	アユ	470kg
	アマゴ	20,000 尾

港 湾

I. 港勢

1. 市管理港湾

港 格	港 湾 名
重 要 港 湾	今治港
地 方 港 湾 (14 港)	森上港、田ノ浦港、早川港、四坂港、有津港、枝越港、熊口港、前浜港、 北浦港、古江港、大見港、上浦港、岡村港、大下港

2. 今治港

(1) 入港船舶

年 次	内 航 船 舶		外 航 船 舶	
	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
令和 2 年	14,779	1,628,885	213	1,359,084
令和 3 年	15,647	1,657,523	255	1,417,344
令和 4 年	15,790	1,628,106	234	1,309,198
令和 5 年	16,543	1,678,461	234	1,369,902
令和 6 年	15,331	1,682,241	241	1,478,754

(2) 船舶乗降人員

年 次	乗 込	上 陸	計
令和 2 年	38,010	42,067	80,077
令和 3 年	37,536	41,090	78,626
令和 4 年	42,138	45,601	87,739
令和 5 年	51,206	52,034	103,240
令和 6 年	54,953	46,140	92,093

(3) 海上出入貨物トン数(フェリー含む)

年 次	輸 移 出	輸 移 入	計
令和 2 年	327,798	734,490	1,062,288
令和 3 年	314,396	696,706	1,011,102
令和 4 年	302,317	694,214	996,531
令和 5 年	351,598	684,865	1,036,463
令和 6 年	384,724	715,468	1,100,192

3. 今治港以外(14 港)

(1) 入港船舶

年 次	内 航 船 舶		外 航 船 舶	
	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
令和 2 年	17,138	2,137,911	0	0
令和 3 年	17,602	2,177,405	0	0
令和 4 年	17,245	2,136,726	0	0
令和 5 年	18,347	2,787,501	0	0
令和 6 年	17,752	2,191,013	0	0

(2) 船舶乗降人員

年 次	乗 込	上 陸	計
令和 2 年	31,822	31,813	63,635
令和 3 年	35,007	34,978	69,985
令和 4 年	37,070	36,846	73,916
令和 5 年	43,394	41,725	85,119
令和 6 年	39,817	39,684	79,501

(3) 海上出入貨物トン数(フェリー含む)

年 次	移 出	移 入	計
令和 2 年	140,082	534,661	674,743
令和 3 年	127,126	511,347	638,473
令和 4 年	135,909	581,352	717,261
令和 5 年	176,215	601,371	777,586
令和 6 年	173,862	602,540	776,402

注：港湾統計の換算率による数値

Ⅱ. 主な施設

1. 今治港[蔵敷・鳥生地区](貨物専用港)

(1) 供用開始 昭和 51 年 5 月

(2) 概 要

ア 蔵敷地区

・泊 地

水深 9.0m 面積 4 ha

7.5m 面積 2 ha

5.5m 面積 1 ha

4.0m 面積 1 ha

・ふ 頭

岸壁 10,000D/W 級 水深 9.0m 1 バース 延長 165m (S53. 4. 1 供用開始)

5,000D/W 級 水深 7.5m 1 バース 延長 130m (")

2,000D/W 級 水深 5.5m 5 バース 延長 450m (S54. 4. 1 供用開始)

物揚場 500G/T 級 水深 4.0m 延長 300m (S51. 5. 1 供用開始)

・ふ頭用地 66,295 m²

荷さばき地 27,859 m² 野 積 場 敷 33,486 m²

緑 地 4,000 m² そ の 他 9,500 m²

・蔵敷上屋

	1 号	2 号	3 号
建設年月日	S 55. 3. 30	S 55. 3. 30	S 55. 3. 30
構 造	鉄骨造・平屋建	鉄骨造・平屋建	鉄骨造・平屋建
延 べ 面 積	990 m ²	660 m ²	990 m ²

・蔵敷ふ頭総合事務所

建設年月日 昭和 55 年 10 月 31 日(平成 3 年 3 月 11 日一部移転)

延 べ 面 積 474 m²

建 物 概 要 軽量鉄骨造 2 階建

事 業 費 54,160 千円

イ 鳥生地区

・泊 地

水深 5.5m 面積 6 ha

・ふ 頭

岸壁 2,000D/W 級 水深 5.5m 4 バース 延長 360m

・ふ頭用地 12,166 m²

荷さばき地 8,166 m² 緑 地 4,000 m²

2. 今治港[富田地区]

(1) 供用開始 平成7年7月

(2) 概要

・泊地

水深	12.0m	面積	12ha
	10.0m	面積	6ha
	4.0m	面積	2ha

・ふ頭

岸壁	30,000D/W級	水深	12.0m	1バース	延長	240m
	15,000D/W級	水深	10.0m	1バース	延長	185m
物揚場	200G/T級	水深	4.0m		延長	100m
護岸					延長	812m

・ふ頭用地 74,656 m²

荷さばき地	46,656 m ²	緑地	28,000 m ²
-------	-----------------------	----	-----------------------

・富田ふ頭管理棟

建設年月日	平成17年2月21日
延べ面積	161.72 m ²
建物概要	鉄骨造(軽量鉄骨プレハブ) 2階建
事業費	36,666 千円

3. 今治港港湾計画

(1) 計画の方針

- 1) 背後地域の流通拠点として、船舶の大型化、フェリー輸送によるユニット化等の進展に対応するため大型フェリー施設の強化を図る。
- 2) 地域住民の生活環境を改善するため、物流と人流の分離を図りつつ、アメニティ豊かな多様な機能が集積した賑わいのある空間を形成するため、過密化する港湾施設の再開発を進める。
- 3) 今治港及び今治港を取り巻く地域の環境の保全のため、廃棄物受入空間を確保すると共に、海面埋立の用材として活用を図る。
- 4) 企業の用地需要に対応するため、工業用地の確保を図る。
- 5) 大規模地震災害時の緊急避難及び緊急物資輸送等の対策を進める。

平成11年3月、以上の方針のもとに、今治港港湾計画が改訂された。

平成24年3月、今治地区の再開発計画への対応と大規模地震災害時の対策を進めるため今治港港湾計画の軽易な変更がなされた。

平成27年3月、今治地区小型船だまりにおける静穏度を確保するため今治港港湾計画の軽易な変更がなされた。

(2) 計画の概要

① 今治(内港)地区

・ふ頭

岸壁	水深 5.5m	1 バース	延長 100m
物揚場	水深 4.0m		延長 137m

・用地

ふ頭用地	面積 2.6ha
交流厚生用地	面積 2.7ha

・臨港交通施設

交通機能用地	面積 2.5ha
--------	----------

・環境整備施設

緑地	面積 2.2ha
----	----------

・小型船だまり

防波堤	延長 60m
-----	--------

② 今治(外港)地区

・フェリーふ頭

岸壁(大規模地震対策施設)	水深 7.5m	1 バース	延長 200m
---------------	---------	-------	---------

・用地

ふ頭用地	面積 3.5ha
港湾関連用地	面積 3.5ha
都市再開発用地	面積 3.0ha
危険物取扱施設用地	面積 1.4ha
都市機能用地	面積 1.1ha

・泊地

水深 7.5m	面積 1.2ha
---------	----------

・外郭施設

防波堤	延長 100m
-----	---------

・臨港交通施設

交通機能用地	面積 1.4ha
--------	----------

・環境整備施設

緑地	面積 1.2ha
----	----------

③ 蔵敷地区

・大規模地震対策施設

岸壁	水深 9.0m	1 バース	延長 165m
----	---------	-------	---------

Ⅲ. 重要港湾今治港年表

大正 9 年	2 月 1 1 日	市制施行。港湾修築第 1 期工事(東防波堤築造)に着手
大正 1 1 年	2 月 1 0 日	開港場に指定される
大正 1 3 年	8 月	今治港務所開設
昭和 2 年	1 1 月 4 日	第 2 種重要港湾に指定される
昭和 9 年	8 月 3 0 日	第 2 期修築工事完了(東防波堤 100m 延長, 荷揚場浮さん橋, 貯木場, 内港船溜完成)
昭和 2 6 年	1 月	港湾法に基づく重要港湾に指定される
昭和 2 7 年	1 1 月 1 日	運輸大臣より今治市管理を認可される
昭和 3 7 年	4 月	波止浜港を港則法による今治港域に編入
昭和 4 2 年	3 月	一文字防波堤 700m 完成
昭和 4 2 年	3 月 3 1 日	今治港湾ビル竣工
昭和 4 3 年	1 0 月	農林省植物防疫所今治出張所開設
昭和 4 4 年	5 月	喜田村水上貯木場(33, 655 m ²)開設
昭和 4 4 年	7 月	沖洲上屋倉庫鉄筋コンクリート造 2 階建竣工
昭和 4 5 年	2 月	第 3 栈橋をフェリー専用栈橋に改良
昭和 4 5 年	7 月	港湾法に基づく港湾区域拡張を認可される
昭和 4 5 年	8 月	台風 10 号により東防波堤、第 1・第 2 栈橋、片原町フェリー栈橋が流失し、6 トン巻、2 トン巻クレーンが全壊した
昭和 4 5 年	1 0 月	片原町フェリー栈橋復旧
昭和 4 6 年	3 月	第 1・第 2 栈橋新造復旧
昭和 4 6 年	9 月	東防波堤(幅員 9.8m)復旧
昭和 4 7 年	8 月	今治・神戸間に大型フェリー就航
昭和 4 8 年	3 月	蔵敷地区臨海土地造成工事完成
昭和 4 9 年	7 月	中型フェリー可動橋新設
昭和 4 9 年	9 月	台風 16 号により旧中型フェリー可動橋大破廃棄処分、第 1 栈橋ふ函沈没
昭和 5 0 年	5 月	今治・竹原間に高速艇就航
昭和 5 1 年	5 月 1 日	蔵敷地区一部供用開始(物揚場ー4m・延長 300m)
昭和 5 1 年	6 月 3 0 日	第 3 栈橋船客待合所(131.76 m ²)竣工
昭和 5 1 年	7 月	今治・井口間に高速艇就航
昭和 5 2 年	4 月	今治・仁方間に高速艇就航
昭和 5 2 年	9 月	鳥生地区臨海土地造成事業着工
昭和 5 3 年	4 月	蔵敷岸壁(ー9.0m・延長 165m、ー7.5 m・延長 140m)供用開始
昭和 5 4 年	2 月 1 日	港則法に基づく今治港の港域拡張
昭和 5 4 年	4 月	蔵敷岸壁(ー5.5m・延長 450m)、鳥生岸壁(ー5.5m・延長 180m) 供用開始
昭和 5 5 年	3 月	蔵敷上屋 3 棟(2,640 m ²)竣工
昭和 5 5 年	1 0 月	蔵敷ふ頭総合事務所(473 m ²)竣工
昭和 5 7 年	3 月	東防波堤(延長 100m)竣工
昭和 6 1 年	3 月	荷役機械(ジブクレーン)設置
昭和 6 1 年	8 月	港湾法に基づく港湾区域変更の許可を受ける
昭和 6 2 年	3 月	富田地区港湾整備に着手
昭和 6 2 年	7 月 1 0 日	港則法に基づく今治港の港域拡張
昭和 6 3 年	1 月	大島・伯方大橋完成に伴い航路が再編される
昭和 6 3 年	6 月	小型フェリー施設改良工事完成(物揚場 60m)
平成 2 年	3 月	中型フェリー施設改良工事完成(物揚場 149m)、美保町物揚場完成(延長 530m)
平成 4 年	6 月 3 日	韓国・東南アジア定期コンテナ航路開設
平成 4 年	1 0 月 1 0 日	片原町緑地(ふれあいマリン広場)完成
平成 6 年	8 月 1 8 日	韓国定期コンテナ航路 1 便増便
平成 6 年	8 月 1 8 日	内航コンテナフィーダー航路開設(神戸)
平成 7 年	2 月 2 0 日	内航コンテナ航路開設(東京)
平成 7 年	3 月 3 1 日	荷役機械(コンテナ用リフト)購入
平成 7 年	3 月	浅川物揚場改良工事完成(ー1.5m・延長 169m)

平成	7年	4月15日	富田臨海造成地の公募開始
平成	7年	6月6日	富田地区埋立竣功認可
平成	7年	7月3日	富田ふ頭供用開始(－12.0m 岸壁・延長 240m、－10.0m 岸壁・延長 185m、－4.0m 物揚場・延長 100m)
平成	7年	7月	韓国定期コンテナ航路週 3 便体制へ
平成	8年	7月	韓国定期コンテナ航路週 4 便体制へ
平成	8年	10月	富田ふ頭ガントリークレーン 1 基設置
平成	8年	11月1日	検疫法に基づく「無線検疫対象港」に指定される
平成	10年	3月	港湾ビル緑地完成
平成	10年	4月	富田緑地(多目的広場・ゲートボール場)供用開始
平成	11年	3月	内港物揚場改良(－4.0m・延長 130m)
平成	12年	3月	富田緑地(親水護岸, 魚釣護岸)完成
平成	12年	12月	家畜伝染病予防法に基づく「稲わら等輸入指定港」に指定される
平成	13年	1月	富田臨港線供用開始
平成	13年	3月	芸予地震により天保山岸壁, 片原地先護岸等被災
平成	14年	11月20日	台湾・香港定期コンテナ航路開設
平成	15年	10月29日	荷役機械(コンテナ用リフト)購入
平成	16年	5月	台湾・香港定期コンテナ航路休止
平成	16年	8月	台風 10 号により第 1 栈橋ふ函沈没
平成	17年	2月21日	富田ふ頭管理棟(161.72 m ²)竣工
平成	17年	2月25日	沖洲上屋倉庫鉄筋コンクリート造 2 階建解体
平成	19年	6月	韓国定期コンテナ航路週 5 便体制へ
平成	20年	1月	韓国定期コンテナ航路週 6 便体制へ
平成	20年	6月	韓国定期コンテナ航路週 5 便体制へ
平成	22年	7月22日	今治地区第 2 栈橋(2 函目・3 函目)に「いまばり海の駅」を開設
平成	23年	3月11日	富田地区防波堤完成(延長 496m)
平成	23年	8月3日	荷役機械(ジブクレーン)設置
平成	24年	2月29日	荷役機械(リーチスタッカー)購入
平成	27年	12月15日	みなと交流センター竣工
平成	30年	6月28日	荷役機械(コンテナ用リフト)更新
平成	31年	1月	韓国定期コンテナ航路週 4 便体制へ
令和	2年	6月	海のコンコース完成
令和	3年	1月	韓国定期コンテナ航路週 5 便体制へ
令和	3年	11月	片原町緑地 (KATAHARA WOOD BASE) 完成
令和	4年	2月	今治港開港 100 周年
令和	5年	5月	富田ふ頭ガントリークレーン更新
令和	7年	4月	韓国定期コンテナ航路週 4 便体制へ

